



緊急

熱中症に注意!!

大阪の8月の猛暑日の日数が過去最多を記録しています。
 さらに、気象庁の予報では、向こう1か月の平均気温が高くなる見通しであり、厳しい残暑となることが予想されます。
 引き続き、職場における熱中症を予防しましょう。
 なお、熱中症が疑われる場合は、適切な情報とともに医療機関へ搬送しましょう。



平成28年に大阪府下の事業場で発生した熱中症による労働災害の事例（速報）

死亡災害

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温（℃）	発生状況	屋内外
8月	建設業	13時	30歳代	男	36.4	マンション新築工事現場で、コンクリート打設の補助作業をしている最中に突然転倒した。	屋外

休業4日以上

発生月	業種	発生時刻	年齢	性別	最高気温（℃）	発生状況	屋内外
8月	建設業	15時	20歳代	男	35.3	マンション新築工事現場で、配筋作業を行っていた。休憩中に手足が痙攣し、病院へ搬送された。	屋外
8月	建設業	11時	50歳代	男	36.3	新築工事現場で、生コンの受入試験の作業を行っていたところ、熱中症を発症した。	屋外
8月	警備業	16時	50歳代	男	34.5	工事現場にて交通誘導中、しびれ、だるさを感じたが勤務を継続。翌日も勤務に就いたが、再び体調が悪化し病院で受診したところ、熱中症と診断された。	屋外
7月	ビルメンテナンス業	15時	40歳代	男	34.4	屋外での除草清掃作業を終え、事務所に戻ったところ、手足のしびれ、だるさなどの熱中症の症状を発症した。	屋外
7月	貨物自動車運送業	7時	30歳代	男	32.6	荷の積み込み作業中に意識朦朧となり転倒した。	屋外
7月	小売業	10時	40歳代	女	34.7	部品倉庫内で入出庫作業中、体調不良となり救急搬送された。	屋内
7月	廃棄物処理業	14時	50歳代	男	36.3	缶の選別作業中、気分が悪くなり座り込んでいた。他の従業員が声を掛けたら返事をしたが、すぐに痙攣を起こした。	屋外
7月	建設業	11時	50歳代	男	34.6	型枠解体工事の作業中、その場に座り込み、救急車で搬送された。屋内の休憩所があったが、被災者は屋外で休憩していた。	屋外
7月	接客娯楽業	13時	30歳代	女	31.1	遊園地のアトラクションで接客中、ふらつきを感じたが一時的なものと判断し業務を続けていたところ、歩行困難なほど悪化した。	屋外
7月	水道業	15時	50歳代	男	33.3	計器類の巡視点検中、足がつり、その後痙攣の症状が出てきたため病院に搬送された。	屋外



救急措置

熱中症は急速に進行し、重症化することから、少しでも熱中症を疑わせる症状が現れた場合は、早期に適切な処置を行い、迅速に医療機関へ搬送することが重要です。

このため、次に掲げる措置を講じましょう。

- (1) 高温多湿作業場所において作業に従事させる場合には、労働者の熱中症の発生に備え、あらかじめ、病院、診療所等の所在地、連絡先及び診療時間帯を把握しておくとともに、緊急連絡網を作成し関係者に周知しましょう。
- (2) 熱中症を疑わせる症状が現れた場合は、救急処置として涼しい場所で体を冷やし、水分及び塩分の摂取等を行いましょう。

また、必要に応じ、救急隊を要請し、又は医師の診察を受けさせましょう。

なお、医療機関で早期に適切な診療が受けられるよう、「熱中症予防のための体調自己チェックリスト」や「熱中症情報提供書」(不具合になるまでの状況、不具合になったときの状況を記入する書類)を作成し、医師に伝えるなどの対応を行うよう努めましょう。

熱中症情報提供書 (分かる範囲で、赤色で記入してください。)

氏名		才	
不具合になった当日の状況等			
食事や飲水の摂取 (十分な水分と塩分補給があったか)		有	無
不具合になった時の作業場所	屋内	屋外	日陰 日向
気温 ()	湿度 () %	WBGT ()	
当日の作業開始時刻	(午前・午後	時	分頃)
不具合になった時刻	(午前・午後	時	分頃)
作業内容 (具体的内容 :)			
どんな服装をしていたか。			
上着	無 有 ()	帽子	無 有 (保護帽・布帽)
つなぎ	無 有		
一緒に作業していて通常と違う点として何か気づいたか。(同僚等がいた場合)			
()			
前日の作業内容			
今日と同じ			
今日と異なる (具体的内容 :)			
不具合になった時の状況 (複数選択可)			
意識混濁	けいれん (身体のひきつけ)	手足の運動障害	歩行困難
頭痛	吐き気	嘔吐	倦怠感
脱力感	下痢	気分不快	耳鳴り
筋肉痛	激しい喉の渇き	尿量減少	立ちくらみ
めまい	失神 (短時間)		
体温 ()			
脈の数	不規則	拍動微弱	
呼吸の数	不規則	無	
意識の状態	目を開けている	ウトウトしがち	刺激で開眼 開眼しない
発汗の程度	極めて多い (だらだら)	多い	少ない ない
行動の異常・意味不明の発言	無 有		
作業所での応急措置の有無と内容			
有の場合 (複数選択可)			
	涼しい所に移し横に寝かした。	脱衣して体に水をかけた。	
	水分と塩分を補給した。	氷などで首・脇の下・足の付け根を冷やした。	
	冷たい麦茶・氷水を与えた。	その他 ()	

注) 症状が見られた時に早期に適切な診療が受けられるようにするため、搬送時にこの情報提供書を医療機関に提出し適切に対応しましょう。